

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

ソフトボール

2026年／令和8年

第496号

7月号

（毎月1回10日発行）

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L. 03-5843-0480 F A X. 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L. 03-3811-6911 F A X. 03-3811-6290



再び「世界の頂点」へ
準備・強化を！

「ワールドカップ グループステージ」に向け、強化を図る女子TOP日本代表

C o n t e n t s

- ・第55回日本男子リーグ第2節2
- ・ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節～第10節6
- ・大会成功のために奔走！14

- ・令和8年度第1回理事会議事録16
- ・令和8年度第2回理事会議事録22
- ・令和8年度第1回定時評議員会議事録24
- ・令和8年度第3回理事会議事録30
- ・事務局だより32

公益財団法人 日本ソフトボール協会オフィシャルホームページ

www.softball.or.jp

◆第55回日本男子リーグ第2節◆



同率首位に浮上！



鹿児島・宮崎の両会場で熱戦展開！

去る5月30日（土）・31日（日）の両日、鹿児島県鹿児島市・宮崎県宮崎市を舞台に「第55回日本男子ソフトボールリーグ」第2節が開催された。

今節は、第1節を3勝1敗と勝ち越し、3位グループにつけていた6チーム（平林金属 RINOBLAZE、ジェイテクト、トヨタ、愛媛ウエスト、日本エコシステム、SAGAダイワアクト）の内、「トヨタ」「SAGAダイワアクト」が無傷の4連勝！通算成績7勝1敗で「同率首位」に浮上した。



決勝トーナメント進出を巡る順位争い「激化」!!

これをジェイテクト、Hondaが通算6勝2敗の同率3位で追いかけて、平林金属 RINOBLAZE、山口水産、安川電機、愛媛ウエストの4チームは5位グループ（通算5勝3敗）に。同率9位は通算4勝4敗の大阪桃次郎と日本エコシステム。11位グループ（通算3勝5敗）には三重ヴェルデウイン、高知パシフィックウェーブ、豊田自動織機、デンソー、大阪・堺グロバルの5チームが位置し、16位・旭化成（通算2勝6敗）、17位・熊本嶋田クラブ（通算1勝7敗）、埼玉県庁クラブは未だ勝ち星なしの8連敗・18位と苦しい戦いが続いている。





第3節は
9月4日～6日の3日間
三重県四日市市・高知県高知市にて開催！

◎第2節終了時点 全チーム勝敗・順位

1位 トヨタ	7勝1敗
// SAGA ダイワアクト	7勝1敗
3位 ジェイテクト	6勝2敗
// Honda	6勝2敗
5位 平林金属 RINO BLAZE	5勝3敗
// 山口水産	5勝3敗
// 安川電機	5勝3敗
// 愛媛ウエスト	5勝3敗
9位 大阪桃次郎	4勝4敗
// 日本エコシステム	4勝4敗
11位 三重ヴェルデウィン	3勝5敗
// 高知パシフィックウェーブ	3勝5敗
// 豊田自動織機	3勝5敗
// デンソー	3勝5敗
// 大阪・堺グローバル	3勝5敗
16位 旭化成	2勝6敗
17位 熊本嶋田クラブ	1勝7敗
18位 埼玉県庁クラブ	0勝8敗

※上位5チームが決勝トーナメントに進出



◆鹿児島大会◆

【大会第1日（5月30日）試合結果】

Honda 6-1 熊本嶋田クラブ
SAGA ダイワアクト 6-3 安川電機
平林金属 RINO BLAZE 9-6 愛媛ウエスト
山口水産 7-0 愛媛ウエスト
豊田自動織機 2-0 安川電機
平林金属 RINO BLAZE 5-0 デンソー
山口水産 5-3 豊田自動織機
SAGA ダイワアクト 1-0 Honda
デンソー 5-4 熊本嶋田クラブ

【大会第2日（5月31日）試合結果】

山口水産 2-1 デンソー
豊田自動織機 4-1 平林金属 RINO BLAZE
愛媛ウエスト 7-5 熊本嶋田クラブ
SAGA ダイワアクト 8-2 平林金属 RINO BLAZE
安川電機 7-4 熊本嶋田クラブ
愛媛ウエスト 3-0 Honda
山口水産 1-0 安川電機
SAGA ダイワアクト 16-3 デンソー
Honda 4-1 豊田自動織機

◆宮崎大会◆

【大会第1日（5月30日）試合結果】

日本エコシステム 3-1 旭化成
大阪桃次郎 8-4 埼玉県庁クラブ
トヨタ 2-0 三重ヴェルデウィン
大阪・堺グローバル 6-3 日本エコシステム
旭化成 6-4 埼玉県庁クラブ
ジェイテクト 5-0 高知パシフィックウェーブ
三重ヴェルデウィン 4-3 ジェイテクト
トヨタ 6-0 高知パシフィックウェーブ
大阪桃次郎 5-0 大阪・堺グローバル

【大会第2日（5月31日）試合結果】

大阪・堺グローバル 3-1 旭化成
ジェイテクト 4-3 大阪桃次郎
三重ヴェルデウィン 9-0 埼玉県庁クラブ
トヨタ 6-3 日本エコシステム
ジェイテクト 13-0 大阪・堺グローバル
高知パシフィックウェーブ 8-1 埼玉県庁クラブ
トヨタ 3-0 旭化成
大阪桃次郎 5-4 三重ヴェルデウィン
高知パシフィックウェーブ 3-0 日本エコシステム

第2節の詳細レポート ダイジェスト動画はこちら！



ニトリ
JD.LEAGUE



ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節～第10節



第6節



ビックカメラ高崎今節連勝で「同率首位」

5月22日（金）～24日（日）、「ニトリJD・LEAGUE 2026」第6節が、「東地区」北海道札幌市、栃木県那須塩原市の2会場、「西地区」愛知県豊田市、愛媛県西予市の2会場・計4会場で開催された。今節は「東地区」那須塩原ラウンド、「西地区」豊田ラウンド、西予ラウンドの3会場で「フライデーナイト」を実施。

「東地区」では、昨シーズン「東地区優勝」を飾った戸田中央が今節初戦は苦しみながらも延長タイブレークの末、デンソーに2－1のサヨナラ勝ち。しかし、続くNECプラットフォームズ戦で最終回、2点差をひっくり返され、「まさか……」の逆転サヨナラ負け。通算成績11勝3敗となった。

2位でこれを追っていたビックカメラ高崎は今節連勝。ついに戸田中央の「背中」をとらえ、11勝3敗で「同率首位」に並びかけた。

これを10勝4敗のSGホールディングスが3位で追い、SHIONOGIが7勝7敗の勝率5割で4位につけている。以下、5勝9敗の伊予銀行、日本精工が「同率5位」、4勝10敗のタカギ北九州が7位、3勝11敗の東海理化が最下位の順となっている。



トヨタが豊田自動織機との「直接対決」を制し、「同率首位」に

3位には8勝6敗のホンダとデンソーが並び、6勝8敗のNECプラットフォームズと太陽誘電が「同率5位」。5勝9敗の日立が7位、1勝13敗の大垣ミナモが最下位に沈んでいる。

「西地区」は単独首位に立っていた豊田自動織機を、今節「ホーム」開催のトヨタが「直接対決」で破り、通算成績11勝3敗とし、「同率首位」に並んだ。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節「東地区」札幌ラウンド 北海道札幌市・札幌市麻生球場

月 日		試合結果			
5月23日(土)	第1試合	太陽誘電 ソルフィーユ	6－5	日立 サンディーバ	
	第2試合	大垣 ミナモ	0－6	ホンダ リヴェルタ	
5月24日(日)	第1試合	太陽誘電 ソルフィーユ	4－3	大垣 ミナモ	
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	5－1	日立 サンディーバ	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節「東地区」那須塩原ラウンド 栃木県那須塩原市・石川スポーツグラウンドくろいそ野球場

月 日		試合結果			
5月22日(金)		NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	1－11	デンソー ブライトペガサス	
5月23日(土)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	2－1	デンソー ブライトペガサス	
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	0－3	ビックカメラ高崎 ビークイーン	
5月24日(日)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	3－9	ビックカメラ高崎 ビークイーン	
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	7－6	戸田中央 メディックス埼玉	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節「西地区」豊田ラウンド 愛知県豊田市・豊田市運動公園野球場

月 日		試合結果			
5月22日(金)		トヨタ レッドテリアーズ	9－3	SHIONOGI レインボーストークス	
5月23日(土)	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	2－1	SHIONOGI レインボーストークス	
	第2試合	トヨタ レッドテリアーズ	0－3	SGホールディングス ギャラクシースターズ	
5月24日(日)	第1試合	SHIONOGI レインボーストークス	1－0	SGホールディングス ギャラクシースターズ	
	第2試合	トヨタ レッドテリアーズ	2－1	豊田自動織機 シャイニングベガ	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第6節「西地区」西予ラウンド 愛媛県西予市・西予市営宇和球場

月 日		試合結果			
5月22日(金)		伊予銀行 ヴェールズ	4－5	東海理化 チェリーブロッサムズ	
5月23日(土)	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	0－12	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	
	第2試合	伊予銀行 ヴェールズ	1－0	日本精工 プレイベアリーズ	
5月24日(日)	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	2－10	日本精工 プレイベアリーズ	
	第2試合	伊予銀行 ヴェールズ	4－0	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	

第7節

5月30日（土）・31日（日）の両日、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第7節が行われ、この「第7節」から「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦シリーズ」に突入。新潟県上越市、埼玉県朝霞市、静岡県掛川市、京都府宇治市の4会場で熱戦が展開された。

「東地区」では、昨シーズン「東地区の王者」戸田中央が「4連覇」を狙うトヨタとの「直接対決」を中川彩音の先頭打者本塁打、「エース」後藤希友の力投で2-1で制する等、今節も連勝。通算成績13勝3敗で「単独首位」の座を堅持している。対照的に、これを追う2位・ビックカメラ高崎が「西地区」で激しい首位争いを演じるSGホールディングス、豊田自動織機との「直接対決」に連敗。SGホールディングス戦は打線がわずかに2安打と沈黙し、0-1の完封負け。続く豊田自動織機戦は、最終回まで2点のリードを奪いながら、「レジェンド」上野由岐子が3点を奪われ、「まさか……」の逆転サヨナラ負け。今節連敗で2位の順位は変わらないものの、通算成績11勝5敗と首位との差を広げられてしまった。

3位には今節連勝で10勝6敗としたデンソー、9勝7敗のホンダが4位で

これを追っている。

以下、7勝9敗のNECプラットフォームズ、太陽誘電が「同率5位」、6勝10敗の日立が7位、今節、SHIONOGIを3-1で破り、2勝目を挙げた大垣ミナモが2勝14敗で最下位となっている。

「西地区」は3チームが12勝4敗で「同率首位」に並ぶ大混戦。「4連覇」を狙うトヨタが「東地区」首位の戸田中央との「直接対決」に敗れ、今節1勝1敗で通算成績12勝4敗。豊田自動織機も今節初戦の日立戦を2-3で落としたものの、続くビックカメラ高崎戦は最終回、2点差をひっくり返す逆転勝利。「レジェンド」上野由岐子から土壇場で「キャプテン」沢柳紀が逆転サヨナラの二塁打を放ち、今節1勝1敗。通算成績12勝4敗で「同率」首位に踏み止まった。ビックカメラ高崎にキャスリン・サンダーコックの好投で1-0の完封勝ちを収める等、今節連勝を飾ったSGホールディングスも同じく12勝4敗とし、「同率首位」に並びかけ、3チームが首位を並走している。

これを8勝8敗「勝率5割」のSHIONOGIが4位で追いかけて、6勝10敗の伊予銀行、日本精工の両チームが「同率5位」。タカギ北九州が4勝12敗の7位、3勝13敗の東海理化学が最下位の順で続いている。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第7節「交流戦シリーズ」上越ラウンド 新潟県上越市・高田城址公園野球場				
月 日		試合結果		
5月30日（土）	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	0-8	デンソー ブライトペガサス
	第2試合	太陽誘電 ソルフィユ	0-3	日本精工 ブレイブベアリーズ
5月31日（日）	第1試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	3-4	デンソー ブライトペガサス
	第2試合	太陽誘電 ソルフィユ	7-3	東海理化 チェリーブロッサムズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第7節「交流戦シリーズ」朝霞ラウンド 埼玉県朝霞市・朝霞中央公園野球場				
月 日		試合結果		
5月30日（土）	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	4-2	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	戸田中央 メディックス埼玉	1-0	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
5月31日（日）	第1試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	4-7	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	戸田中央 メディックス埼玉	2-1	トヨタ レッドテリアーズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第7節「交流戦シリーズ」掛川ラウンド 静岡県掛川市・掛川市いこいの広場野球場				
月 日		試合結果		
5月30日（土）	第1試合	大垣 ミナモ	3-1	SHIONOGI レインボーストックス
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	7-5	伊予銀行 ヴェールズ
5月31日（日）	第1試合	大垣 ミナモ	2-12	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	2-3	SHIONOGI レインボーストックス

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第7節「交流戦シリーズ」宇治ラウンド 京都府宇治市・山城総合運動公園野球場				
月 日		試合結果		
5月30日（土）	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	2-3	日立 サンディーバ
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	1-0	ビックカメラ高崎 ビークイーン
5月31日（日）	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	3-2	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	4-2	日立 サンディーバ

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信は JD.LEAGUE 公式サイトで

<https://jdleague.jp/>

第8節

6月6日（土）・7日（日）、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第8節が行われ、前節（第7節）に続き、「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦シリーズ」を実施。栃木県那須塩原市、群馬県高崎市、愛知県小牧市、沖縄県読谷村の4会場で熱戦が展開され、「那須塩原ラウンド」「高崎ラウンド」「読谷ラウンド」は予定通り全試合を終了したが、「小牧ラウンド」のみ、悪天候のため、第2日第2試合が雨天順延。5月8日（月）、この試合を行い、全日程を終了した。

「東地区」首位を走る戸田中央が「西地区」首位争いを演じる豊田自動織機、SGホールディングスに連敗を喫したが、これまでの「貯金」が生き、「単独首位」の座を守っている。

これを追う2位・ビックカメラ高崎も「ホーム」開催の今節初戦を落とし、「JD.LEAGUE」となっており「初の3連敗を経験。1勝1敗と星を伸ばせず、12勝6敗。これに「JD.LEAGUE」初開催となった「読谷ラウンド」で「4連覇」を狙うトヨタに6-0で完勝する等、今節連勝のデンソーが同じく12勝6敗とし、「同率2位」に並びかけた。4位には10勝8敗のホンダがつけ、



JD.LEAGUE「初開催」となった沖縄県読谷村熱戦を展開し、大盛況のスタンドを沸かせた

9勝9敗で「勝率5割」のNECプラットフォームフォームズが5位、今節連勝で8勝10敗の日立が6位に浮上、今節連敗の太陽誘電が7勝11敗で7位と順位を下げ、3勝15敗の大垣ミナモが最下位。

「西地区」は前節（第7節）終了時点で3チームが12勝4敗で「同率首位」に並ぶ大混戦。ここから「東地区」首位の戸田中央を破る等、今節連勝の豊田自動織機が抜け出し、14勝4敗で単独首位に立った。「4連覇」を狙うトヨタは今節1勝1敗で13勝5敗、SGホールディングスも1勝1敗と星を伸ばせず、同じく13勝5敗で「同率2位」。

4位以下は「勝率5割」を割り込む状況となり、8勝10敗のSHIONOGIが4位、7勝11敗の伊予銀行、日本精工が「同率5位」、5勝13敗のタカギ北九州が7位、3勝15敗の東海理化が最下位の順となっている。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第8節「交流戦シリーズ」那須塩原ラウンド 栃木県那須塩原市・石川スポーツグラウンドくろいそ野球場

月 日		試合結果	
6月6日（土）	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	8-5 戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	5-4 SGホールディングス ギャラクシースターズ
6月7日（日）	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	2-3 SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	2-4 豊田自動織機 シャイニングベガ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第8節「交流戦シリーズ」高崎ラウンド 群馬県高崎市・宇津木スタジアム

月 日		試合結果	
6月6日（土）	第1試合	SHIONOGI レインボーストックス	0-2 日立 サンディーバ
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	1-9 伊予銀行 ヴェールズ
6月7日（日）	第1試合	日立 サンディーバ	11-6 伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	18-1 SHIONOGI レインボーストックス

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第8節「交流戦シリーズ」小牧ラウンド 愛知県小牧市・小牧市民球場

月 日		試合結果	
6月6日（土）	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	3-0 日本精工 ブレイブベアーズ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	1-3 大垣 ミナモ
6月7日（日）	第1試合	日本精工 ブレイブベアーズ	8-7 大垣 ミナモ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	雨天順延 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
6月8日（月）		東海理化 チェリーブロッサムズ	4-8 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第8節「交流戦シリーズ」読谷ラウンド 沖縄県読谷村・オキハム読谷平和の森球場

月 日		試合結果	
6月6日（土）	第1試合	デンソー ブライトペガサス	4-2 タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	トヨタ レッドテリアーズ	11-2 太陽誘電 ソルフィュー
6月7日（日）	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	0-6 デンソー ブライトペガサス
	第2試合	太陽誘電 ソルフィュー	1-3 タカギ北九州 ウォーターウェーブ

第9節

6月13日（土）・14日（日）、「ニトリJD・LEAGUE 2026」第9節が行われ、「第7節」「第8節」に続き、「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦シリーズ」を実施。神奈川県川崎市、富山県高岡市、兵庫県尼崎市、福岡県北九州市の全国4会場で熱戦を繰り広げ、予定通りの日程で全試合を終了した。

「東地区」では、昨シーズン「地区優勝」を飾った戸田中央が今節は「打ち勝つ」試合展開で伊予銀行に5－4、SHIONOGIに9－3で連勝。通算成績15勝5敗で単独首位に立っている。これを追うビックカメラ高崎も今節連勝で14勝6敗の2位につけ、「西地区」首位を走る豊田自動織機との対戦に0－1の完封負けを喫し、今節1勝1敗のデンソーが13勝7敗の3位。今節連勝で12勝8敗としたホンダが4位で追い、その背後に迫っている。

以下、9勝11敗のNECブラッドフォードが5位、今節連敗の日立は8勝12敗となり、太陽誘電と並んで同率6位。「4連覇」を狙うトヨタを撃破する等、今節連勝を飾った大垣ミナモが5勝15敗と星を伸ばし、最下位の順位は変わらないものの、調子を上げている。

「西地区」は「第8節」を終え、「単独首位」立っていた豊田自動織機が今節も快調に連勝。通算成績16勝4敗とし、首位の座を堅持している。

「4連覇」を狙うトヨタは「東地区」最下位の太田ミナモを相手に、初回「先手」を奪いながら投手陣が踏ん張らず2－15で逆転負けを喫し、14勝6敗の2位。首位との差が広がった。



大垣 ミナモが「王者」トヨタを破る大金星！

SGホールディングスは今節手痛い連敗。13勝7敗で3位と順位を落とした。同じく今節連敗のSHIONOGIは8勝12敗で4位と順位は変わらないものの、今節1勝1敗の日本精工に並ばれ、「プレーオフ進出」圏内の確保が危うくなっている。

以下、7勝13敗の伊予銀行が6位、6勝14敗のタカギ北九州が7位、4勝16敗の東海理化が最下位となっている。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第9節「交流戦シリーズ」川崎ラウンド 神奈川県川崎市・等々力球場				
月 日		試合結果		
6月13日(土)	第1試合	日本精工 ブレイブアールズ	0－5	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	日立 サンディーバ	4－5	東海理化 チェリーブロッサムズ
6月14日(日)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	4－1	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	日立 サンディーバ	2－4	日本精工 ブレイブアールズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第9節「交流戦シリーズ」高岡ラウンド 富山県高岡市・ボールパーク高岡				
月 日		試合結果		
6月13日(土)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	3－2	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	太陽誘電 ソルフィユ	1－3	豊田自動織機 シャイニングベガ
6月14日(日)	第1試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	1－3	太陽誘電 ソルフィユ
	第2試合	デンソー ブライトペガサス	0－1	豊田自動織機 シャイニングベガ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第9節「交流戦シリーズ」尼崎ラウンド 兵庫県尼崎市・ベイコム野球場				
月 日		試合結果		
6月13日(土)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	4－5	戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	SHIONOGI レインボーストックス	5－8	ホンダ リヴェルタ
6月14日(日)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	5－8	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	SHIONOGI レインボーストックス	3－9	戸田中央 メディックス埼玉

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第9節「交流戦シリーズ」北九州ラウンド 福岡県北九州市・北九州市民球場				
月 日		試合結果		
6月13日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	7－2	NECブラッドフォード レッドファルコンズ
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	3－6	大垣 ミナモ
6月14日(日)	第1試合	大垣 ミナモ	5－2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	2－0	NECブラッドフォード レッドファルコンズ

第10節

6月20日（土）・21日（日）、「ニトリ JD. LEAGUE 2026」は「第7節」「第8節」「第9節」に続き、「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦シリーズ」の「最後」を飾る「第10節」が栃木県宇都宮市、神奈川県茅ヶ崎市、愛知県刈谷市、愛媛県松山市の全国4会場で開催され、初日があいにくの悪天候となり、「宇都宮ラウンド」「松山ラウンド」は予定通りの日程で試合を行うことができたが、「刈谷ラウンド」は初日2試合、「茅ヶ崎ラウンド」は第1試合を終えたところで試合続行不可能となり、第2試合が雨天順延。22日（月）にその順延された試合を行い、全日程を終了した。

「東地区」は、戸田中央が今節連勝で通算成績17勝5敗。「単独首位」の座を守り、ビックカメラ高崎が16勝6敗の2位でピッタリこれをマーク。今節最終戦の伊予銀行戦を0-1の完封負けで落としたデンソーが14勝8敗で3位につけ、13勝9敗のホンダが4位でこれを追い、「プレレオフ進出圏内」をキープする展開となっている。

以下、日立とNECプラットフォームズが10勝12敗の「同率5位」に並び、8勝14敗の太陽誘電が7位、5勝17敗

4位には、今節「ホーム」で連勝した伊予銀行がSHIONOGI、日本精工に並びかけ、9勝13敗で3チームが並ぶ状況に……。『プレレオフ進出』を巡る争いは激しさを増している。

以下、タカギ北九州が6勝16敗で7位、東海理化が4勝18敗で最下位となっている。



「王者」トヨタが3連敗。3位に転落……

の大垣ミナモが最下位となっている。

「西地区」では、豊田自動織機が17勝5敗で首位を走り、今節連勝のSGホールディングスが15勝7敗で2位に浮上。今節「宿敵」ビックカメラ高崎に2-5で敗れ、日立にも0-1の完封負けを喫したトヨタが14勝8敗で3位に転落。前節（第9節）から3連敗と元氣なく、5年連続の「西地区優勝」、JDリーグ「4連覇」を狙う「王者」が未だかつてない窮地に立たされている。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第10節「交流戦シリーズ」茅ヶ崎ラウンド 神奈川県茅ヶ崎市・茅ヶ崎公園野球場					
月 日		試合結果			
6月20日(土)	第1試合	ビックカメラ高崎	ビーキューン	5-2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	日立	サンディーバ	雨天順延	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
6月21日(日)	第1試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	1-4	ビックカメラ高崎 ビーキューン
	第2試合	日立	サンディーバ	1-0	トヨタ レッドテリアーズ
6月22日(月)	第2試合	日立	サンディーバ	7-1	タカギ北九州 ウォーターウェーブ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第10節「交流戦シリーズ」宇都宮ラウンド 栃木県宇都宮市・宇都宮清原球場					
月 日		試合結果			
6月20日(土)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	11-3	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合		ホンダ リヴェルタ	1-2	日本精工 プレイブベアリーズ
6月21日(日)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	6-1	日本精工 プレイブベアリーズ
	第2試合		ホンダ リヴェルタ	2-1	東海理化 チェリーブロッサムズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第10節「交流戦シリーズ」刈谷ラウンド 愛知県刈谷市・刈谷球場					
月 日		試合結果			
6月20日(土)	第1試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	雨天順延	大垣 ミナモ
	第2試合		豊田自動織機 シャイニングベガ	雨天順延	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
6月21日(日)	第1試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	3-1	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合		豊田自動織機 シャイニングベガ	5-0	大垣 ミナモ
6月22日(月)	第1試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	8-5	大垣 ミナモ
	第2試合		豊田自動織機 シャイニングベガ	4-6	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第10節「交流戦シリーズ」松山ラウンド 愛媛県松山市・マドンナスタジアム					
月 日		試合結果			
6月20日(土)	第1試合	デンソー	ブライトペガサス	3-2	SHIONOGI レインボーストークス
	第2試合		伊予銀行 ヴェールズ	4-3	太陽誘電 ソルフィュー
6月21日(日)	第1試合	SHIONOGI	レインボーストークス	4-3	太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合		伊予銀行 ヴェールズ	1-0	デンソー ブライトペガサス

ニトリ JD.LEAGUE 2026**東地区 第10節終了時点 順位表**

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	戸田中央 メディックス 埼玉	17勝5敗	0.773
2位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	16勝6敗	0.727
3位	デンソー ブライトベガサス	14勝8敗	0.636
4位	ホンダ リヴェルタ	13勝9敗	0.591
5位	日立 サンディーバ	10勝12敗	0.455
5位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	10勝12敗	0.455
7位	太陽誘電 ソルフィュー	8勝14敗	0.364
8位	大垣 ミナモ	5勝17敗	0.227

西地区 第10節終了時点 順位表

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	豊田自動織機 シャイニングベガ	17勝5敗	0.773
2位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	15勝7敗	0.682
3位	トヨタ レッドテリアーズ	14勝8敗	0.636
4位	伊予銀行 ヴェールズ	9勝13敗	0.409
4位	SHIONOGI レインボーストークス	9勝13敗	0.409
4位	日本精工 ブレイブベアリーズ	9勝13敗	0.409
7位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	6勝16敗	0.273
8位	東海理化 チェリーブロッサムズ	4勝18敗	0.182



雨にも負けず…… 大会成功のために奔走！



いよいよ夏の全日本（全国）大会の季節到来

4月に開幕した「JDリーグ」「日本リーグ」が全国各地で熱戦を展開しているが、5月30日・31日の両日、宮崎県宮崎市・鹿児島県鹿児島市を会場に開催された男子リーグの「第2節」では、「第2回男子U23ワールドカップ」（4月25日～5月3日／コロンビア・シンセレホで開催）で見事「優勝」「世界一」を勝ち獲った男子U23日本代表の選手・スタッフが出場チームのメンバーに多数在籍するにあつて、その選手・スタッフを表彰するセレモニーが企画・実施され、チーム関係者のもとより協会役員、大会運営スタッフ、そして応援に駆けつけてくれた観客の皆さんとともに、改めてその「快挙」を称え、喜びを分かち合った。

6月に入り、「梅雨入り」したこともあり、天候に泣かされることも……。今年は過去に例のない時期の台風接近・上陸もあり、大会開催が危ぶまれることもあったが、関係者の熱意と祈りが天に通じたか、雨天順延をはさみながらも何とか予定された日程を消化することができた。その陰には、日夜天気予報とにらめっこし、雨雲レーダーのチェックを欠かすことなく、グラウンド整備に奔走する大会運営スタッフの姿があったことを忘れてはならない。

7月に入ると全日本大会（全国大会）が始まる。「日本一」の座をめざす「暑い季節」がまたやってくる！

ニトリ JD. LEAGUE 2026 第6節～第10節



第55回日本男子ソフトボールリーグ第2節



令和8年度第1回理事会議事録



審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。理事25名中出席18名（欠席7名）、出席監事3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認され、審議が行われた。

●審議事項

第1号議案

令和7年度 事業報告案について

瀬戸山総務委員長より、「令和7年度事業報告」（案）が、次のように説明された。

公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計毎に実施された事業の報告を行った他、令和7年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員・記録員・指導者の各登録人数が報告され、「第1号議案」は原案通り承認された。

期日…令和8年5月24日（日）

15:00～16:30

場所…東京・Japan Sport Olympic square

／インターネット会議方式併用

理事現在数…25名

出席理事…18名

欠席理事…7名

出席監事…3名

議長…会長 牧島かれん

第2号議案

令和7年度決算報告案 及び監査報告について

石井財務委員長より、「令和7年度決算報告」（案）が、次のように説明された。

令和7年度の全体決算としては、経常収益が前年度比590万8210円増の5億5千280万4739円、経常費用が前年度比2千800万7998円増の5億3千754万5410円となり、当期経常増減額は1千525万9324円の黒字となった。

収支予算対比においては、経常収益が4千4万4161円の減、経常費用が1億398万9185円の減で

あった。登録数の減少が続く中で、収入ではJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）選手強化委託金の増加、女子TOP日本代表の合宿や選考会参加人数等による選手負担金の増加、JDリーグからの運用負担金増額、ミズノスポーツ振興財団、ソフトボールドリーム、ビューティー創生本部などからの受取寄付金の増加、JOC交付金の増加により、支出では正規職員の期中での退職、計画していた臨時職員採用を見合わせたことや事業の見直し、未実施・未消化となった事業の経費、経費節減の協力により支出が抑えられ、黒字決算となった。

公益目的事業会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約8千972万円減の4億4千678万4989円、経常費用においては、約7千354万円減の4億5千640万1312円、当期経常増減額は961万6323円のマイナスとなった。

収益事業等会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約958万円減の2千671万9003円、経常費用においては、約100万円増の1千620万4781円、当期経常増減額は1千51万4222円のプラスとなった。

法人会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約5千927万

円増の7千930万747円、経常費用においては約3千144万円減の6千493万9322円、当期経常増減額は1千436万1425円のプラスとなった。

続いて鈴木監事より「業務監査報告」が行われ、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示しており、理事の業務執行の状況は適正であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないことが報告された。

併せて、独立監査人である伊藤章子公認会計士から説明報告を受けた内容について説明され、本会計が公益法人会計の基準に準拠して、適正に会計処理がなされており、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益の状態を、すべての重要な点において適正に表示していることを認めること。また、財産目録に関しても、公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める旨が説明された。

なお、補足として、三菱UFJ信託銀行の「デリバティブ内包型預金ツインスター」について多額の含み損が発生している状況で、今後金利が上昇するとさらにデリバティブ損失が膨らむ可能性があり、中途解約時はデリバティブ損失に追加して解約違約金が発生

するとの説明がなされた。

以上の説明を受け、審議が行われ、黒字決算となったことは喜ばしいことではあるが、臨時職員の採用の見送りが黒字化の大きな要素であるとすれば、その分、職員が少なく、働き手が少ないということになり、事務局にさらなる負担をかけることになっていないか、状況を精査してほしいとの意見が出された。

他の競技においては、大きな国際大会等があるときには、かなり前からテレビ等でスポーツのCMが流される等、知らず知らずのうちに大会が認知され、多くの人の注目を集めるような施策がとられているが、情報の出し方について、本協会の場合、そのような宣伝効果が得られていない。広報についても改めて見直してほしいとの意見も出された。

また、令和7年度については、様々な事業縮小や経費節減の努力の結果、黒字となったが、今後、中長期的に影響が出るような事項については、慎重に精査し、取捨選択することが必要で、男子U23ワールドカップの優勝という大きな成果があったが、これも当初は「派遣見送り」もやむなしという状況であったことは忘れてはならない。また、指導教本の制作・発行の見送り等

も採算を考えることはもちろん重要だが、ソフトボールの未来・将来を見据えた上での事業計画、予算措置をお願いしたいとの意見が出された。

これらの意見を受け、審議の結果、「第2号議案」は原案通り承認された。

第3号議案

支部功労者表彰
日本ソフトボール協会賞
について

瀬戸山常務理事より「令和7年度支部功労者表彰」について、各都道府県協会より推薦のあった60名を、また日本ソフトボール協会賞をHonda（第65回全日本実業団男子選手権大会3連覇及び第71回天皇盃全日本総合男子選手権大会優勝の二冠）、MORIAL WAVE KANOYA（全日本クラブ女子選手権大会4連覇）に、それぞれ贈呈することが提案され、「第3号議案」は原案通り承認された。

第4号議案

審判・記録伝達委託金
地区大会委託金
改訂提案

岡本専務理事兼事務局長より、前回評議員会にて評議員より指摘のあった、

審判・記録伝達講習会の委託費について、20%減額していたものを戻し、200万から250万へ、地区大会委託金についても20%減額していたものを戻し、353万6千円から442万円とし、今年度から実施することが提案された。

なお、138万4000円の増額となるが、現行予算の中で含入することが併せて提案され、「第4号議案」は原案通り承認された。

第5号議案

JSCスポーツ振興基金個人助成「アスリート助成」提案

岡本専務理事兼事務局長より、JSC（独立行政法人日本スポーツ振興センター）のアスリート助成について、次のように説明された。

JOC強化指定選手のうち、今年度の大会で特に期待される選手、またロサンゼルスオリンピックでの活躍が期待される選手に対し、国として資金的支援を行う助成制度で、助成額は1人年間240万円を助成する制度であり、対象となる選手選考の基準が示され、選手11名（後藤希友選手、上野由岐子選手、切石結女選手、石川恭子選手、工藤環奈選手、唐牛彩名選手、塚本堂選手、藤本麗選手、山内早織選手、

内藤実穂選手、中川彩音選手）を、「アスリート助成」の対象とすることが提案された。

なお、本来理事会の審議が必要であったが、事務手続きを4月30日までにを行う必要があったため、常務理事会の審議・承認を得て、事務手続きの方は終了していることが報告され、「第5号議案」は原案通り承認され、事務手続きについても了承された。

第6号議案

LA28特別委員会提案事項

岡本専務理事兼事務局長より、LA28に向けた選手強化活動の一環として7月にブルー・リマで開催される「第18回女子ワールドカップ・グループステージ」グループBの参加選手、また9月に愛知県で開催される第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）ソフトボール競技の参加候補選手が提案された。出場選手枠は「第18回女子ワールドカップ・グループステージ」グループBが16名、「アジア競技大会」は17名で、それぞれの大会の出場選手について説明された。

併せて、参加スタッフと国内強化合宿、大会派遣の事業日程変更についても提案がなされた。

なお、本件に関してはアジア競技大

会が国内開催であり、メディアの関心も高いことから、所属への通知を完了後、5月27日にプレスリリースを行うため、本名簿の情報取り扱いに厳重な注意が促され、「第6号議案」は原案通り承認された。

第7号議案

選手強化本部提案事項

松田常務理事より、次の提案・報告がなされた。

(1) 男子U18アジアカップ

日本代表選手選考について

4月14日～16日、宮崎県宮崎市で選手72名が参加し、選手選考会を実施。16名の代表選手を選考・選出した。

コーチングスタッフは、ヘッドコーチを山崎均氏（啓新高等学校／福井）、アシスタントコーチを津本大貴氏（長崎県立佐世保西高等学校／長崎）、片岡大洋氏（高知県立岡豊高等学校／高知）、マネージャーを日野隼一氏（広島県立御調高等学校／広島）、トレナーを内藤慶氏（ひかり整形外科クリニック）とする（※男子U18アジアカップ日本代表選手選考会の詳細・選考結果（代表選手名簿）・動画はこちら）。

(2) 女子U15アジアカップ

日本代表選手選考について

4月21日～23日、静岡県伊豆市で選手142名が参加し、選手選考会を実施。16名の代表選手を選考・選出。

コーチングスタッフは、ヘッドコーチを藤本素子氏（金沢学院大学／石川）、アシスタントコーチを椿太郎氏（湯梨浜町立湯梨浜中学校／鳥取）、峰幸代氏（AMGuardians）、マネージャーを古渡美奈氏（神田女学院中学校／東京）、トレナーを庭瀬佳那子氏（Niwacare）とする。10月12日～18日が大会で、8月後半に強化合宿、また大会出発直前に選手団の集合を兼ね、合宿を実施予定（※女子U15アジアカップ日本代表選手選考会の詳細・選考結果（代表選手名簿）・動画はこちら）。

(3) 男子U23ワールドカップ

大会報告について

4月25日～5月3日、コロンビア・シンセレホで開催された「第2回男子U23ワールドカップ」において、「オープンングラウンド」（予選リーグ）でアルゼンチンに2－3で敗れたものの、その後、立て直してスーパースラウンドに進出。「スーパースラウンド」（二次リーグ）で



はオーストラリアに延長タイブレークの末、5-6で敗れたが、ベネズエラに1-0、メキシコに2-1で勝利し、「チャンピオンシップファイナル」（優勝決定戦）進出。「チャンピオンシップファイナル」はオーストラリアを4-2で破って世界一となった。永吉キャプテン

を中心にチームとして結束し、戦い抜いた結果であり、この金メダルをTOPカテゴリーの強化につなげていきたい。

以上の提案・報告を受け、審議が行われ、「第7号議案」は原案通り承認された。

第8号議案

技術委員会

審判・ルール委員会

提案事項

神谷審判ルール委員長より、5月8日に製品安全協会において「第1回野球及びソフトボール用捕手ヘルメット専門部会」が行われたことが報告された。4月16日、プロ野球で球審が打者の振り抜いたバットの直撃を受け、救急搬送されたことに起因し、緊急で捕手用ヘルメットのSG基準に球審も適用する改正について審議され、今後ソフトボール競技においても球審をするにあたってヘルメットを着用したいとの要望が出された場合、現時点では日本協会からの推奨ではなく、本人の希望により認めてはどうかとの提案がなされた。球審がヘルメットを使用する場合は、製品安全協会のSGマーク、対人賠償任意保険が入ったもの、JSA認定マークの入った捕手用のヘルメットの着用を認めることが提案され、審議の結果、「第8号議案」は原案通り承認された。

第9号議案

評議員の変更について

岡本専務理事兼事務局長より、評議

員の変更について、支部から12名、高体連、JDRリーグ代表から2名の評議員変更の申請が出ていることが説明された。併せて、佐賀県協会評議員についても任期満了を迎えることから理事会承認が求められ、評議員会でも確認。その後、評議員選定委員会を開催することが提案された。

第10号議案

評議員選定委員会

委員について

岡本専務理事兼事務局長より「評議員選定委員会」委員について、前任の退任により欠員となっている委員として、評議員委員を前任の佐藤氏に代わり若林哲司氏、事務局委員に前任の矢端氏に代わり久下次長とすることが提案され、「第10号議案」は原案通り承認された。

第11号議案

令和8年度日韓交流事業

について

岡本専務理事兼事務局長より、今年



度の日韓交流事業について、派遣チームを3月の全国高校女子選抜大会で優勝した兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校とすることが提案された。

また、韓国チームの受け入れを令和8年7月30日～8月4日、兵庫県尼崎市で行い、日本チームの派遣を令和8年11月7日～12日、それぞれ実施することが提案され、「第11号議案」は原案通り承認された。

第12号議案

愛知名古屋アジア競技大会 組織委員会依頼事項

岡本専務理事兼事務局長より、愛知名古屋アジア競技大会組織委員会からの依頼事項として、国際記録員競技役員3名の追加登録が要請されており、遠藤記録委員長に確認のうえ、佐藤晴美氏、木所詩穂美氏、堀川ひかり氏（いずれも愛知県協会）を派遣することが提案された。

また、大会に野球ソフトボール競技を加えるためにNFが協力する提案に基づき、競技備品の調達費用負担の依頼があり、練習用ボール50ダース（ミズノ36万3000円）、外野フェンスの運搬（埼玉から移動、約20万円）

30万円を想定）について、補正予算により協力することが提案された。

以上の説明を受け、審議が行われ、審議の結果、「第12号議案」は原案通り承認された。

第13号議案

令和8年度

第1回定時評議員会 招集について

岡本専務理事兼事務局長より、令和8年6月14日（日）13時～15時、東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 14階会議室及びオンライン併用方式にて「令和8年度第1回定時評議員会」を開催することが提案された。

議案は（1）議長選出、（2）議事録署名人の選出、（3）令和7年度事業報告（案）、（4）令和7年度決算報告（案）、（5）監査報告、（6）令和8・9年度役員選任、（7）令和8年度名誉会長・顧問・参与の選任、（8）評議員の変更・再任について、以上とし、その他報告として、各種表彰（日本ソフトボール協会賞、支部功労者表彰、終身審判員、終身記録員）等を行う。

以上が提案され、「第13号議案」は原案通り承認された。

●報告事項

（1）地区協会懇親会まとめ

岡本専務理事兼事務局長より、令和8年2月9日の四国地区を皮切りに、令和8年4月29日の近畿地区まで、全国9ブロックで開催された地区協会懇談会について報告された。

主な議題として、全日本中学校男子大会の廃止に伴う交流会の開催、チーム登録の見直し、普及事業の推進、熱中症対策、決算報告の提出、天皇盃・皇后盃のグレイドアップ、日本ソフトボール協会の登録料収入減少への対応などについて、各地区の事情などをヒアリングしながら活発な議論が行われたことが共有された。

（2）球心会の取り組みについて

事務局より、王貞治氏が中心となって設立した球心会の活動について報告され、現在当協会としても協力している事業について説明がなされた。

1. 「Beyond Oh! プレイキッズ」イベント…6月14日に神宮球場で



開催されるイベントに、本協会も「ASOBALL」の出席を実施予定。理事会前の時間に見学が可能であることから、見学希望の理事は、入館証発行のため、事前に事務局担当者へ連絡するように確認された。

2.「Beyond Oh! プラットフォーム」(スマホアプリ)・・・野球・ソフトボールをやったことのない人がチーム情報を取得できるプラットフォームで、チーム登録、体験会案内、練習試合のコミュニケーション、野球マップ(キャッチボールができる場所の案内)、掲示板機能などを備えており、無料で利用可能。各都道府県協会には案内済み。

(3) その他

国民スポーツ大会の継続に向けた取り組みについて

鈴木常務理事より、国民スポーツ大会第86回〜89回までの実施競技選定結果において、正式競技42競技にソフトボールが選定されたが、選定されるためのポイント数500点以下の4競技にソフトボールが入ってしまっており、次回選定において予断を許さない状況であることが報告された。

配点46項目中得点0(ゼロ)が14項

目もあり、特に普及活動の取り組み実績が不足している。

評価ポイントの一つである、国スポーツ開催地での大会期間中の普及活動のイベント開催について、今年も日本スポーツ協会より打診があり、青森県協会は諸般の状況により、いったん断りの回答を返送したが、その後、東北協会と青森県協会を説得した結果、9月21日に普及イベントを実施することで合意に至った。



国スボソフトボール競技継続の重要性を説く鈴木常務理事

このことについて、国スボでソフトボール競技を継続させていくためには、「ポイント獲得」が重要であり、日本協会の事業として実施すべきとの意見が出された。

これに対し、宇津木妙子副会長より、従来から国体開催県では「ソフトボール教室」を実施してきており、今回も同様に実施すべきとの意見が出され、牧島会長より、事務局でやれることをやっていくこととし、予算の在り方を含めて検討する旨の発言があった。

令和8年度第2回理事会議事録



本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認。理事25名中出席21名（欠席4名）、出席監事3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認され、審議が行われた。

審議に先立ち、牧島会長から、同日午前9時から神宮球場で開催されてい

た「Beyond OH!プロジェクト」

（Beyond OH!Project／一般財団法人「球心会」主催のイベント／代表・王貞治氏）を、宇津木妙子副会長、理事数名と視察したことが報告され、未就学児をはじめ小さな子どもたちが野球、ソフトボールに触れることができる機会を創出しようとの企画で、2・3歳ぐらいからボールを手にして「投げる」という体験、ASOBALやティーパーを体験してもらうというイベントであり、子どもたちと一緒にイベントに参加して下さっていた保護者の皆さんをはじめ、本当に楽しそうな姿を見て、とても良い機会を作っていただいたと視察の感想と感謝を述べた。

王貞治・球心会代表にも挨拶させていただいたが、プロ野球選手や大学野球の選手も多数参加し、とりわけ王代表と宇津木妙子副会長の野球界、ソフトボール界の「レジェンド」お二人の揃い踏み、参加者の皆さんは大興奮。イベントは盛り上がり、王代表からは「野球界も協力してソフトボールを盛り上げていきたい」との温かな言葉を頂戴し、改めて野球、ソフトボールという競技の枠を超え、同じ「ベースボール型」のスポーツとして連携を図り、足

並みを揃え、野球・ソフトボールの普及・発展、競技の活性化に力を尽くしていきたいとの思いを新たにしたいとの視察報告が行われ、審議に入った。

●審議事項

第1号議案

評議員の変更・更改について（追加）

岡本専務理事兼事務局長より、評議員の変更について、前回理事会で了承された評議員の変更に加え、福島県協会より追加で変更届が提出されたことが報告され、この追加変更届を加えた形で理事会承認が求められ、評議員会でも確認の上、「評議員選定委員会」を開催することが提案された。

審議の結果、「第1号議案」は原案通り承認され、評議員会でも審議することとなった。

第2号議案

令和8・9年度

名誉会長・顧問・参与の選任

岡本専務理事より「令和8・9年度

期日…令和8年6月14日（日）

10:00～10:30

場所…東京・Japan Sport

Olympic square

／インターネット会議方式併用

理事現在数…25名

出席理事…21名

欠席理事…4名

出席監事…3名

議長…会長 牧島かれん

名誉会長・顧問・参与」の選任について、現在すでに名誉会長・顧問・参与到選任されている方は引き続き選任。さらに今期で退任することが決まっている牧島会長を名誉会長に、宇津木妙子副会長を顧問に、瀬戸山常務理事を参与に、それぞれ新規に選任することが提案された。

併せて、宇津木妙子副会長については、これまでの多大なる功績や今後も本協会に対して、より一層の指導・協力を賜るべく、定款には規定されていないが、称号として「終身名誉監督」の称号を授与することが提案された。

以上の内容で理事会承認が求められ、評議員会にも同様に提案・審議を諮ることが説明された。

この提案について、牧島会長の名誉会長推薦について、従前はかなり長い

任期を務めた方が名誉会長に推挙されるケースが多かったように思うが、在任期間一期での名誉会長推薦について確認の意見があり、現職の国会議員・衆議院議員であり、大変多忙な中、会長職を務めていただいたこと、在任期間中にスポーツ議員連盟を立ち上げていただいたこと、現在、WBS C（世界野球ソフトボール連盟）のプリズベンオリンピックに向けた委員にもなっていること等から、これまでの功績・業績への評価はもちろんのこと、「今後」について牧島会長の助言・協力が必要だと判断し、今回の名誉会長の提案となったことが改めて説明された。

これらの説明を受け、審議が行われ、審議の結果、「第2号議案」は原案通り承認され、評議員会でも審議することとなった。

第3号議案 選手強化本部提案事項

松田選手強化本部長より、「第5回女子大学アジアカップ」について、次のように提案された。

(1) コーチングスタッフ

10月下旬に台湾・南投縣埔里で開催される「第5回女子大学アジアカップ

プ」日本代表チームについて、ヘッドコーチを長澤佳子氏（日本文理大学／大分）、アシスタントコーチを古宇田佳愛氏（日本福祉大学／愛知）、アシスタントコーチ兼マネージャーを榎本千波氏（城西大学／埼玉）、トレーナーを安原みどり氏（フリー／大阪）とする。

(2) 選手選考会

同大会に出場する代表選手を選考する「代表選手選考会」を6月30日～7月2日の日程で、静岡県伊豆市において実施する。

(3) 第1次国内強化合宿

この選考会で選出・決定した選手による「第1次国内強化合宿」を10月10日～12日の日程で、東京女子体育大学において実施する。

以上の説明・提案を受け、審議が行われ、「第3号議案」は原案通り承認された。

●報告事項

(1) 令和8・9年度

役員候補者について

岡本専務理事兼事務局長より、本日

の評議員会で審議される「令和8・9年度役員候補者」について、役員候補者選考委員会でも委員長を務めた岩田史昭氏（公益財団法人日本スポーツ協会常務理事兼事務局長）に本理事会・評議員会に出席していただき、候補者選考の内容について説明するよう依頼したことが報告・確認され、了承された。

これを受け、岩田委員長が理事会に出席し、選考内容について詳細を説明。評議員会でも同様の説明を行い、審議を行うことが確認・了承された。

本件に関連し、牧島会長より今後の新役員の任命に関する流れについて説明が求められ、岡本専務理事より、本日の評議員会で役員選任が承認された後、「新理事会」を開催し、会長、副会長、専務理事を選定。その後、常務理事や各委員会委員長を別日開催の理事会で選定・決定していく流れとなることが説明され、了承された。

・その他

名誉会長・顧問・参との役割について

宇津木妙子副会長より、先程任命された「終身名誉監督」の役割について

説明が求められ、岡本専務理事より、「顧問」として様々なアドバイスをいただくと同時に、WBS C役員も引き続きお願いしていることから、国際的な役割を担っていただくことはもちろん、それだけに留まらず協会運営全般に對し、協力・助言を行っていただく立場となることを想定しているとの説明がなされた。

このことに関連し、宇津木妙子副会長より、名誉会長、顧問、参との役割について、これまでのような「名前だけ」「肩書だけ」の名誉職ではなく、名誉会長にはオリンピックに向けた仕事を理事の方々とともに行っていただき、他の大きな案件についても必要に応じて相談し意見を賜る、というのが本来的な立場・役割ではないかとの意見が出され、今後必要が生じた際には常務理事会にオブザーバーとして参加する等、具体的に進言することのできる形にしてはどうか、との提言がなされた。

これに對し、岡本専務理事より、現行規程はどのような形を想定していなかったこともあり、今後議論して、諸先輩方により一層の協力・助言を賜ることのできる形が取れるよう検討していきたいとの回答がなされた。

令和8年度第1回定時評議員会議事録



審議に先立ち、令和7年度各種表彰の授与式を実施した。

- ・支部功労者表彰…60名
- ・終身審判員表彰…58名
- ・終身記録員表彰…11名
- ・日本ソフトボール協会表彰

▽Honda（栃木県）

※第65回全日本実業団男子選手権大会
優勝・3連覇、天皇盃第71回全日本総合男子選手権大会優勝

▽MORIAL WAVE KANO
YA（鹿児島県）

※第46回全日本クラブ女子選手権大会
優勝・4連覇

評議員総数54名のうち出席44名で、定款第6章第23条に基づき、本評議員会は成立。本評議員会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoom ミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会すると同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。第1回定時評議員会が開会された。

評議員会開会に際し、牧島会長が挨拶に立ち、同日午前9時から神宮球場で開催されていた「Beyond OH! Pブレイキッズ」（Beyond OH! P

期日…令和8年6月14日（日）

13…00～14…30

場所…東京・Japan Sport

Olympic square

／インターネット会議方式併用

評議員現在数…54名

出席評議員…44名

欠席評議員…10名

理事現在数…25名

出席理事…21名

欠席理事…4名

出席監事…3名

project／一般財団法人「球心会」

主催のイベント／代表・王貞治氏）を、宇津木妙子副会長、理事数名と視察したことが報告された（※報告内容は「第2回理事会議事録」を参照）。

会長として挨拶するのは最後になるとして、会長ご自身の「思い」を評議員の皆さまにお伝えしたいと、次のような内容が改めて述べられた。

（1）ガバナンスの強化

私が会長に就任したのは本協会のがバナンスの強化のためであったと受け止めている。現体制が確立される、かなり過去の体制では、事務局体制も含めて、ガバナンスの強化、組織・機関決定の透明性の確保、「見える化」しな

ければならない「過渡期」があり、予算・決算等はもちろん、人間関係についても整理・整備が必要で、評議員の皆さまにも風評・怪文書等、警察にご協力をいただくようなことさえあった。協会の立て直しに際し、外部人材である私が関わらせていただき、政治や行政大臣経験者としての知見、また行政改革の担当大臣であった経歴・経験を活かし、「ガバナンスの専門家」として関わらせていただいたと受け止めている。これから残られる評議員の皆さまには、これからも本協会のガバナンス、組織の透明性、そしてこれからめざすべき「風通しの良い組織」であるか否かを常にチェックしていただきたい。

スポーツ団体において、いくつかの団体で週刊誌のネタになるような事案が発生してしまっており、報じられているのは、皆さんも周知の通りである。昔ながらの体質、内向きで閉鎖的になりがちな環境、過去の人間関係のしがらみや先輩・後輩の関係性が強すぎるがあり、意見が通りにくいといったことがスポーツ団体の改めるべきポイントとして挙げられている。これは本協会のみならずスポーツ界全体としての課題認識であり、私もJSPPO（公益財団法人日本スポーツ協会）の会長会議に出席した折にも、各団体の会長たちが苦労している分野であった

と肌で感じている。ぜひ評議員の皆さまには、この点について私が最後の会長挨拶として触れたという意味を受け止めていただき、今後さらなるソフトボール界の発展に尽力してくださることを切に願っている。

（2）アスリートファースト

すべてはソフトボールのために

私自身は、このソフトボールは、まず女子が「世界一」である。そして男子も「世界一」になった。だからこそ、それを支援する組織体制も「世界一」でなければならぬと考え、その思いで組織体制の整備・強化に努めてきた。今後もぜひすべての面で「世界一」をめざしてほしい。そして、男子も女子も「世界一」の競技力を維持し続けると同時に、これからソフトボールを楽しむ子どもたちに、のびのびとプレイできる環境を整えていってあげてほしいと願っている。

私自身も地元ソフトボールに長く関わっていく中で、地元・神奈川県から全国大会に小学生も中学生も出てくられており、その出場をめざし、日々努力・準備をし、大会出場の際には壮行会を開催する等もしてきた。そして先日、私の「地盤」である小田原市で女子リーグの試合が開催された。「世界

一」をめざすのと同じくらい身近なソフトボール環境を整え、大切に守っていくことにも力を尽くしていく必要があると感じている。

みんながソフトボールを通じて「夢」を実現することができるようという思いで、私が会長として掲げたスローガンは、「アスリートファースト。すべてはソフトボールのために」であった。このアスリートは、小さな子どもたちから「日の丸」を背負って「世界一」をめざし戦う選手まで、すべてを含んでおり、評議員の皆さまはじめ、ソフトボールに関わるすべての人が「アスリートファースト」で「ソフトボール界のために」「ソフトボールの未来のために」と、自分自身のためではなく、大きな目的のためにと心を一つにし、力を合わせ、これから先も進んでいくことが何よりも大事で大切にしてほしいことである。

（3）オリンピック3大会連続

金メダル獲得へ向け

今、ロサンゼルスオリンピックでの「3大会連続の金メダル獲得」という「大きな目標」を掲げて準備を進めているところであり、ぜひご協力をお願いしたい。JSPPOは遠藤利明前衆議院議員が会長であり、JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）は現職

である橋本聖子参議院議員が会長を務めている。そして今、国会の中に「ソフトボール議員連盟」を立ち上げており、岸田文雄元総理を会長とする組織が出来ている。私ができることは、私自身の本業を通じてこれからも行っていくことをお約束し、ロサンゼルスオリンピック金メダル獲得に向けた応援は惜しみなく進めていきたいと考えている。

先日の冬季オリンピックの際、長らくケガで苦しんだ末にメダリストとなった女子のスキージャンプの選手のエピソードの中で、東京2020オリンピック・ソフトボールの金メダリストの言葉として、「オリンピックが開催されれば必ず実施される競技の選手は、思うような結果がでなくて打ちひしがれ、挫折しても『4年後』には次のオリンピックがやってくる。『4年後をめざします』と言える。でも、私たちソフトボール選手には『4年後』があるかどうかすらわからない。オリンピック競技として行われるかどうかかわからないから……。『次がある』『次をめざせる』ってことはそれだけで幸せなことなんだよ」とケガで苦しんでいたリハビリ期間にかけられた言葉として紹介されていた記事を目にし、自分ではどうすることもできない悲しみ・苦しみを抱えながら、なお高みをめざしている選手たちがいる、というのを忘れてはならないと強く強く

感じている。ロスで終わりではなく、その先のブリスベンでもオリンピック種目としてソフトボールが残るかどうかわかることは、私が会長職を仰せつかった時の「宿題」であつたと受け止めており、これは外交関係や各国との人間関係、オーストラリアの政界との人脈等もフルに活用していかなければ、なかなか実現が難しい「難問」であるのは事実であり現実。WBS Cとの信頼関係を築いていく必要がある。私自身もブリスベンオリンピックの開催国・オーストラリアの皆さんとの国際会議にもオンラインで出席させていただいており、オーストラリアが開催国として苦勞していることも感じている。決して容易な道ではないと思うが、ぜひその実現へ向け、ご協力をお願いしたい。

（4）アジア競技大会

日米対抗の成功へ向けて

今年9月にまず「アジア競技大会」が愛知県で、さらにその先の11月には「日米対抗」の開催も予定している。愛知県で、そして沖縄県での開催という「チャレンジ」で、評議員の皆さまにも、大変とは思いますが、ぜひ愛知へ、沖縄へ、足を運び、大会を成功に導いていただくようお願いしたい。前回の評議員会でも、今から予定を決め

て、フライトやホテルの予約をお願いしたいと声をかけさせていただいたがこの「世界一」をめざす女子日本代表チームの試合に観客が少なくて盛り上がりがない……というようなことがあつてはならない。それが私たちの「組織としての責任」であると受け止め、大会の成功へ向け、皆さまのご支援・ご協力をもう一度お願いしておきたい。

（5）感謝を込めて

ソフトボールを愛する気持ちで集まっている皆さまの、その「輪」の中に私も入らせていただいたこと、そしてこれからも関わらせていただけること、心より感謝申し上げます。この「思い」を共有しながら、皆さまとともにソフトボールの発展のために力を尽くし、思い巡らせアイデアを出し、未来の「あるべき姿」を皆さまと一緒に描いていきたいと切に願ひ、そのことをこの場で改めてお話し上げ、会長として最後のご挨拶とさせていただきます。

●審議事項

第1号議案

議長の選出について

牧島会長より、定款第22条3項に基

づき、出席評議員の中から議長を選出することが説明され、京都府・平井靖之評議員から新潟県・坂井紀代美評議員を議長に推薦する提案があり、全会一致で承認。

坂井評議員が今回の評議員会における議長を務めることとなった。

第2号議案

議事録署名名人の選出について

議長より、議事録署名名人の選出について、東京都・三井きよみ評議員、神奈川県・松山玲子評議員の両名を任命することが提案され、全会一致で承認された。

第3号議案

令和7年度事業報告（案）について

瀬戸山総務委員長より、「令和7年度事業報告」（案）が、次のように説明された。

公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計毎に実施された事業の報告を行った他、令和7年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員・記録員・指導者の各登録人数が報告され、「第

3号議案」は原案通り承認された。

第4号議案

令和7年度収支決算報告（案）について

第5号議案

監査報告

石井財務委員長より、「令和7年度決算報告」（案）が、次のように説明された。

令和7年度の全体決算としては、經常収益が前年度比590万8210円増の5億5千280万4739円、經常費用が前年度比2千800万7998円増の5億3千754万5410円となり、当期経常増減額は1千525万9324円の黒字となった。

収支予算対比においては、經常収益が4千441万611円の減、經常費用が1億398万9185円の減であった。登録数の減少が続く中で、収入ではJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）選手強化委託金の増加、女子TOP日本代表の合宿や選考会参加人数等による選手負担金の増加、JDRリーグからの運用負担金増額、ミズノスポーツ振興財団、ソフトボールドリーム、ビュティイー創生本部などからの受取寄付金の増加、JOC交

付金の増加により、支出では正規職員
の期中での退職、計画していた臨時職
員採用を見合わせたことや事業の見直
し、未実施・未消化となった事業の経
費、経費節減の協力により支出が抑え
られ、黒字決算となった。

公益目的事業会計の主な差異につい
て、経常収益においては、予算対比約
8千972万円減の4億4千678万
4989円、経常費用においては、約
7千354万円減の4億5千640万
1312円、当期経常増減額は961
万6323円のマイナスとなった。

収益事業等会計の主な差異について
経常収益においては、予算対比約95
8万円減の2千671万9003円、
経常費用においては、約1000万円増
の1千620万4781円、当期経常
増減額は1千51万4222円のプラ
スとなった。

法人会計の主な差異について、経常収
益においては、予算対比約5千927万
円増の7千930万747円、経常費用
においては約3千144万円減の6千4
93万9322円、当期経常増減額は1
千436万1425円のプラスとなった。

続いて鈴木監事より「業務監査報
告」が行われ、事業報告書の内容は、
法人の状況を正しく示しており、理事
の業務執行の状況は適正であり、法令

もしくは定款に違反する重大な事実
はないことが報告された。

併せて、独立監査人である伊藤章子
公認会計士から説明報告を受けた内容
について説明され、本会計が公益法人
会計の基準に準拠して、適正に会計処
理がなされており、当該財務諸表に係
る期間の財産及び損益の状態を、すべ
ての重要な点において適正に表示して
いることを認めること。また、財産目
録に関しても、公益法人会計の基準に
準拠しており、公益認定関係書類と整
合して作成されているものと認める旨
が説明された。

これらの説明を受け、審議が行われ、
審議の結果、「第4号議案」「第5号議
案」は原案通り承認された。

第6号議案

令和8・9年度

理事・監事候補者の選任について

岩田史昭役員選考委員会委員長より、
4月14日の「役員候補者選考委員会」
で推挙された理事候補者25名及び監事
候補者3名の提案がなされた。

また、この候補者構成により、女性
理事40%、外部理事28%となり、競技
団体ガバナンスコードの基準を引き続

き達成する見込みであることが併せて
説明された。ただし、第7条で選出さ
れる地区・団体からの選出より推薦が
あった女性候補者が2名であったこと
から、委員会の最後に、今後、地区選
出から女性候補者が選出されるような
仕組み作りを検討していただきたいと
附記したことが報告された。続いて、
候補者一人ひとり名前と略歴が説明さ
れ、審議が行われた。

《推薦候補者》

役員等の候補者選考・推薦に関する
規程第7条に基づく地区・団体からの
推薦。

1. 佐々木幸治氏（北海道地区）重任
2. 鈴木 俊一氏（東北地区）重任
3. 鈴木 利夫氏（関東地区）新任
4. 西 康弘氏（北信越地区）重任
5. 大沼 信一氏（東海地区）新任
6. 平井 靖之氏（近畿地区）新任
7. 秋枝 英行氏（中国協会）新任
8. 谷田 圭司氏（四国協会）重任
9. 稲福 孝氏（九州協会）新任
10. 木田 京子氏（大学連）重任
11. 鈴木 優子氏（高体連）重任

同規程第8条1に基づく、業務執行
理事からの推薦で、10名以内の外部有

識者。

12. 荒木 香織氏／新任
- ※株式会社CORAZON
13. 伊東 秀仁氏／重任
- ※（公財）日本スケート連盟
14. 岩崎 眞美氏／重任
- ※（公財）日本バドミントン協会
15. 岡田 理恵氏／重任
- ※NECレッドロケッツ川崎
16. 河合 満氏／新任
- ※トヨタ自動車株式会社
17. 白土なほ子氏／新任
- ※昭和医科大学医学部産婦人科
18. 清水 光氏／重任
- ※清水法律事務所
19. 西村 昭宏氏／新任
- ※大阪府サッカー協会
20. 山田 博子氏／重任
- ※全日本女子野球連盟
- 同規程第8条2に基づく、業務執行
理事からの推薦で、第8条の枠数から
前項の人数を差し引いた人数で、協会
運営で特に必要とする者。
21. 宇津木麗華氏／重任
- ※ビックカメラ高崎
22. 岡本 友章氏／重任
- ※（公財）高知県スポーツ振興財団
23. 佐藤 理恵氏／重任



※東京女子体育大学

24・神谷 和宏氏／重任

※（一社）岡山県ソフトボール協会

25・村田 文敏氏／新任

※千葉県ソフトボール協会

同規程第9条に基づく、業務執行理事からの推薦で、監事候補者。

（1）公益法人の業務運営に一定の知見を有し、業務監査能力を備える者。

（2）公益法人の会計制度に一定の知見を有し、計算書類の監査能力を備える者。

（3）公益法人の関係法令に一定の知見を有し、法令違反がないよう監視できる者。

26・赤城 陽一氏／重任

※熊本県ソフトボール協会

（1）に該当

27・石井 延明氏／新任

※広島県ソフトボール協会

（2）に該当

28・上村 知裕氏／重任

※山川・増山・高橋法律事務所

（3）に該当

審議の結果、「令和8・9年度理事・監事」について、候補者名を1名ずつ挙げて採決をとり、全候補が賛成多数により原案通り承認された。

第7号議案

令和8・9年度

名誉会長・顧問・参予の

選任について

岡本専務理事より「令和8・9年度名誉会長・顧問・参予」の選任について、役員等の候補者選考・推薦に関する規程第12条に基づき、令和8年度第2回理事会で承認された内容を上程するものとして、現在すでに名誉会長・顧問・参予に選任されている方は引き続き選任。さらに今期で退任することが決まっている牧島会長を「名誉会長」に、宇津木妙子副会長を「顧問」に、瀬戸山常務理事を「参予」に、それぞれ新規に選任することが提案された。また、宇津木妙子副会長については、これまでの多大なる功績や今後も協会に対し、指導・協力を賜るべく定款には規定されていないが、称号として「終身名誉監督」を授与することが提案された。

以上の提案を受け、審議が行われ、審議の結果、賛成多数で「第7号議案」は承認された。

第8号議案

評議員の変更について

岡本専務理事より、評議員の変更に

ついで、本会役員等の候補者選考・推薦に関する規程第2条第1項に基づき、評議員会が評議員候補者となり得る者を選考し、評議員候補被推薦者ごとの決議によって、評議員選定委員会へ推薦することとなっていることから、本評議員会に提案することが説明された。今回、支部から13名、高体連、J Dリーグ代表から2名の評議員の変更について申請が出ており、佐賀県協会選出評議員が任期満了を迎えることから、この改選について重任の提案がでていることを説明。理事会でこの内容を了承したことから、評議員会でも承認し、明日6月15日に開催される「評議員選定委員会」に提案することが提案された。

以上が説明され、審議の結果、賛成多数で「第8号議案」は承認された。

●報告事項

1. 第80回国民スポーツ大会

（青森県）について

本年10月に青森県八戸市、弘前市、東北町、三沢市で開催される「第80回国民スポーツ大会」ソフトボール競技の開催準備を行っている青森県・安藤智史評議員より、開催準備状況が報告

され、開催に際し協力が要請された。

（1）開催時期

開催時期に関して、この日程だとなりの寒さ、冷え込みが予想される。最高気温は15℃ほど、風があると体感温度はグッと下がり、さらに2〜3℃低く感じられる。重ね着やオーバervestの用意等、防寒対策をしつかり行つてほしい。みぞれ交じりの冷たい雨となることも珍しくない。

（2）日照時間

日照時間が短く、日の入りが午後4時半頃となることから、第一試合開始を午前9時からとし、日没前には第三試合を終えたいと考えている。

ただ、この場合、日の出が午前6時頃であり、第一試合のチームは日の出前に宿泊先を出発して、試合前のウォーミングアップを行うような状況が想定される。

（3）配宿について

配宿について、一昨年の佐賀県も厳しい状況であったが、宿泊所から試合会場あるいは練習会場まで車で1時間超となるチームが出てしまうことが十

分予想される。これはソフトボール競技だけでなく、他の競技も同様の状況である。

（4）人員の不足

審判員、記録員、放送員が少ない当県協会が主催しての大会運営となるため、4種別8会場のスタッフの半分73名は東北各県と北海道から支援をいただく予定（岩手県25名、秋田県9名、宮城県12名、山形県11名、福島県12名、北海道4名）。また、球場補助員の高校生も不足しており、「少年男子」開催地には高校はなく、近隣の高校にソフトボール部があつて応援を依頼しているものの、部員数は3〜5名、チームによっては1名のところもあり、一般・社会人への協力やソフトボール・野球未経験の高校生にも依頼しての対応となる。

以上のような状況で、高齢化の進む協会ではあるが、開催地実行委員会、特に行政担当者との連携を密にし、無事に国スポを乗り切りたいと考えている。9月に愛知県古屋アジア競技大会が開催され、そこでソフトボールへの関心が高まり、盛り上がったところで迎える「青森国スポ」。名古屋で高まった「ソフトボールの熱気」を青森が冷ますことなく、熱いままでも乗り切る

よう頑張る所存である。日ソ協及び各都道府県協会の皆さまのご支援・ご協力をお願いし、青森国スポに関わる説明とさせていただきます。



今限りで退任される理事の皆さん一人ひとりが挨拶を行った

最後に本評議員会をもって退任となる杉本理事、亀田理事、松田常務理事、八田常務理事、磯谷常務理事、瀬戸山常務理事、宇津木妙子副会長、牧島会長より、退任の挨拶が行われ、閉会した。

令和8年度第3回理事会議事録



本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認。理事25名中出席23名（欠席2名）、出席監事3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認され、審議が行われた。

本理事会は新たに選任された役員が集う初めての理事会であることから、最初に出席者の自己紹介が行われた。



役員一人ひとり順番に自己紹介を行った

期日…令和8年6月14日（日）

15:00～15:30

場所…東京・Japan Sport Olympic square

／インターネット会議方式併用

理事現在数…25名

出席理事…23名

欠席理事…2名

出席監事…3名

●審議事項

第1号議案

会長、副会長、専務理事の選任

岡本理事兼事務局長より、定款第26条第2項により、会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によつて理事の中から選定することが説明され、理事会へ立候補、または推薦が求められた。

西康弘理事より、新会長に河合満理事を推挙することが提案され、満場一致で承認された。

この承認を受け、河合新会長より会長就任の挨拶があり、以降、議長を務めることとなった。

◎会長就任にあたって

（公財）日本ソフトボール協会
会長 河合 満



日本協会会長の大役を仰せつかり、大変光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。

まずは、これまでこの協会を築き上げてこられた役員の皆さん、そして、日々支えていただいている多くの皆さん、関係者の皆さんに厚く感謝申し上げます。皆さんのご努力があって、ソフトボール協会がここまで来たと思っています。心より感謝申し上げる次第です。

今後の運営については、「公正公平」であること、これを大切に、透明性のある判断と運営を心がけていきたいと考えています。皆さまが納得し、信頼できる協会であり続けられるよう努めてまいります。

ソフトボールを通じて多くの人に元気を届けられるよう、そんな輝く協会であり、選手、指導者、関係者、一人ひとりが誇りを持って携われる環境づくりをめざしていきます。

昨今様々な変化が多く、大変な時代になっていますが、だからこそ「スポーツの力」「ソフトボールの力」が求められているとも感じています。子どもたちに夢や希望を与え、明るく元気に成長していくきっかけを、ソフトボールを通じて推進していくと同時に、競技の普及やレベルアップ、全体の底上げを意識しながら取り組み、より多くの人にソフトボールに関わっていただけるよう皆さまと一緒に力を合わせ頑張りたいと思います。

続いて会長より副会長の推挙が求められ、岡本専務理事より宇津木麗華理事、伊東秀仁理事、鈴木俊一理事を副会長に推挙することが提案され、満場



岡本理事の専務理事「統投」が満場一致で承認された

河合会長より、先に専務理事を選任することが提案され、岡本理事を専務理事に推挙することが提案され、満場一致で承認された。

岡本専務理事より、令和8年度の理事会、常務理事会の日程について、今回選任された河合会長と相談の上、日程を決定していくことが提案された。また、次回理事会（第4回理事会）の日程について、常務理事および委員会委員長を選任する議案が予定されているが、三役での相談に時間を要すことから、事業計画で定めていた6月21日（日）から6月26日（金）13時に変更することが提案され、提案の内容が了承された。

第2号議案 令和8年度会議日程について



鈴木俊一理事が新たに「副会長」に就任

一致で承認された。

事務局だより

日米対抗ソフトボール 愛知・沖縄で開催決定！

女子ソフトボール「宿命のライバル」
日本とアメリカが対戦する「日米対抗
ソフトボール」を2年ぶりに開催する
ことが正式決定。



今回は愛知県名古屋市／パンテリンドームナゴヤ（11月19日開催）、沖縄県那覇市／沖縄セルラースタジアム那覇（11月21日・22日開催）にて3試合実施！

ワールドカップもしくはオリンピックの大舞台で、これまで長きにわたり「日本」「アメリカ」のどちらかが栄冠（優勝・世界一）を手にしてきたという……まさに頂上決戦。「世界最高レベル」のぶつかり合い。

LA28（2028年ロサンゼルスオリンピック）へとつながる「日米対抗ソフトボール2026」を、ぜひ球場でご観戦ください。

◎特設サイトはこちら

※試合時間や両チームの出場選手、チケットの販売スケジュール等は後日発表いたします。



「宿命のライバル対決」を見逃すな！



11月、愛知・沖縄へぜひお越しください！！